

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 10 日

事務事業名		学校警察連絡協議会運営助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	030303000662
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090601
政策体系	総合計画の施策名	0303 青少年の健全育成				主要事業		グループ	生涯学習課
	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	03 青少年の健全育成				未来PJ事業	対象外	生涯学習G	
	基本事業名	03 地域教育力の充実				合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	05	01	00	青少年対策事業		
法令根拠						単年度繰返し (年度~)			
						← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市の児童生徒の心身の健全な育成を図るため、学校と警察及び関係諸団体等が緊密な連携を図り、児童生徒の非行防止等に係る研修や活動を行うことを目的としている。 事業内容としては、長期休業(夏・冬・春休み)中の子どもたちの過ごし方等の協議、巡視活動、研修会を行っている。 また、児童生徒の登下校時の安全対策として、市内の小中学校通学路沿線の常時在宅する協力者宅に表示板を掲出し、不審者の声かけ等緊急事案等に際し、地域ぐるみで見守るため、「子どもを守る110番の家」を設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> 市補助金関係事務 部会(年3回の開催 ※長期休業前) 研修会の企画(年3回)※長期休業前 子どもを守る110番の家登録関係事務(御礼文送付、登録名簿の加除等) 不審者情報関係事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市補助金支出関係 部会の開催 研修会の企画、開催 子どもを守る110番の家登録関係 不審者情報の提供	部会開催回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00
	研修会開催数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
市内の児童・生徒	市内・児童生徒数	人	3,341.00	3,232.00	3,100.00	3,000.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
学校・警察及び関係諸団体が連携を取り、相互に協力することによって、児童・生徒の健全育成を図る。	街頭巡視活動数	回	4.00	5.00	5.00	5.00	0.00
	子どもを守る110番の家登録件数	件	1,186.00	1,183.00	1,180.00	1,180.00	1,180.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	千円	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	期間限定総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
入	業	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
			県支出金	0	0	0	0	0		
			地方債	0	0	0	0	0		
			使用料・手数料	0	0	0	0	0		
			その他	0	0	0	0	0		
			一般財源	88	88	88	88	0		
			事業費計(A)	88	88	88	88	0		
量	人	件	正職員従事人数	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	0.00人		
			述べ業務時間	時間	286.00	225.00	200.00	200.00		
			人件費計(B)	千円	830	653	580	580		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	918	741	668	668		
				28年度事業費 実績(千円)	29年度事業費 予算(千円)					
				19 負担金補助及び交付金 88	19 負担金補助及び交付金 88					
				合計	88	合計				88

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業				

事務事業名	学校警察連絡協議会運営助成事業	事務事業No.	30303000662	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

桜川市の児童生徒の心身の健全な育成を図るため、学校と警察及び関係諸団体等が緊密な連携を図り、児童生徒の非行防止等に係る研修や活動を行うことを目的に、平成21年7月に設立された。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・特になし

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・地域の教育力を高めることができるため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・地域が一体となり青少年が健全にのびのびと生活できる環境を創造することが必要なため、妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	・会員が一番興味のある話題について、研修会を開催している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・地域全体で青少年の健全育成が図られなくなるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	・類似事業や統廃合・連携の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・事業を運営する上で、必要最低限の費用である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・市内児童・生徒を対象としているので、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	・年に3回実施している部会において、各会員より毎回活発な意見が出されており、青少年の健全育成に対する意識の高さが伺える。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		○																								
	低下																										
			(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																									
		コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>